

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括表

事業名	民話などの文化遺産を後世に伝える事業
事業主体 (連絡先)	岡田地区まちおこし協議会 松本市岡田岡田町517-1
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	905,200円 (うち支援金 646,000円)

事業内容

地域に伝わる民話や石造文化財などの忘れられている素朴な文化財を後世に伝える事業を実施した。

- ・民話フェスティバルの開催 9月 9日
- ・民話講演会の開催 8月21日
- ・民話紙芝居の制作 5月～2月
- ・民話朗読・語り講座の開催 6月～10月
- ・民話の里を巡るウォーキング 11月 4日

事業効果

- ① 民話フェスティバルには出演団体は、昨年度より1団体減少したが、鑑賞者は、115名となり、参加団体関係者は135名となって、より内容の濃い催しとなった。
- ② 民話フェスティバルをはじめ、民話講演会、ウォーキングなどの催しに紙芝居の上演をしたことで、参加者が、増えることとなった。
- ③ 紙芝居上演者の養成を目的に本年度はじめて開催した、民話朗読・語り講座には、他の団体からも受講者があり、紙芝居の持つ、魅力が再認識されることとなって紙芝居の貸出しが増えてきた。

今後の取り組み

民話フェスティバルは、沢山の民話が伝わる松本平の新たな観光資源として定着させていきたい。

私たちが7年間に制作してきた、民話紙芝居が民話朗読・語りの実践者に新たな表現方法と認識されるに至り今後は制作した、紙芝居を多くの人に見てもらえるよう、貸し出しを本格的にしていきたい。



【民話フェスティバルの一場面】

【目標・ねらい】

- ①民話フェスティバルの出演団体と鑑賞者の拡大
- ②民話を伝承する活動をしている他の団体との交流
- ③紙芝居による民話の伝承
- ④紙芝居上演者（語り部）の養成

※ 自己評価 【A】

【理由】

- ・紙芝居の制作・上演による民話を後世に伝える活動が評価された。
- ・今年度の民話フェスティバルへ出演した団体は来年度の出演を表明している。
- ・民話を伝える手法として、紙芝居の伝達方法が評価された。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある